

アルワンスクール第1クール（科目1～8）時間割及び講師一覧

科目 第1章・職務の理解				
項目	内容	P	時間	講師/添削講師
第1節・多様なサービスの理解	(1) 介護保険による居宅サービス	2～	3	木村先生
	(2) 介護保険による施設サービス	4～		
	(3) 介護保険外サービス	6～		
第2節・介護職の仕事の内容や働く現場の理解	(1) 介護サービスを提供する現場の実際	8～（DVDあり）	3	木村先生
	(2) 介護サービスの提供に至るまでの流れ	32～		
	(3) 介護過程とチームアプローチ	36～		

赤文字部分に関しては通信講座で講義を行う。

また添削講師は生徒の提出した課題の評価と採点を行う。

第1クール、科目第1章に関しては教材としてDVDの使用が可能である。

科目 第2章・介護における尊厳の保持・自立支援				
項目	内容	P	時間	講師/添削講師
第1節・人権と尊厳を支える介護	(1) 人権と尊厳の保持	42～	6	木村先生
	(2) ICF	50～53		
	(3) QOL	54～		
	(4) ノーマライゼーション	56～57		
	(5) 虐待防止・身体拘束禁止	58～		
第2節・自立に向けた介護	(1) 自立支援	66～	3	木村先生
	(2) 介護予防	74～		

赤文字部分に関しては通信講座で講義を行う。

また添削講師は生徒の提出した課題の評価と採点を行う。

第1クール、科目第1章に関しては教材としてDVDの使用が可能である。

科目 第3章・介護の基本				
項目	内容	P	時間	講師/添削講師
第1節・介護職の役割、専門性と多職種連携	(1) 介護環境の特徴	80～	1	川口
	(2) 介護の専門性	84～		
	(3) 介護にかかわる職種	92～		
第2節・介護職の職業倫理	・専門職の倫理意義・介護福祉の倫理	98～	1	住友先生 (かたくり)
第3節・介護における安全の確保とリスクマネジメント	(1) 介護における安全の確保	102～	3	木村先生
	(2) 事故予防安全対策	103～		
	(3) 感染対策	110～		
第4節・介護職の安全	・介護職の心身の健康管理・感染予防	114～	1	木村先生

赤文字部分に関しては通信講座で講義を行う。

また添削講師は生徒の提出した課題の評価と採点を行う。

第1クール、科目第1章に関しては教材としてDVDの使用が可能である。

科目 第4章・介護福祉サービスの理解と医療との連携				
項目	内容	P	時間	講師/添削講師
第1節・介護保険制度	(1) 介護保険制度の背景及び目的、動向	126～	2	住友先生 (かたくり)
	(2) 介護保険制度の仕組みの基礎的理解	134～		
	(3) 制度を支える財源、組織、団体の機能と役割	150～		
第2節・医療との連携とリハビリテーション	(1) 医行為と介護	156～	3.5	住友先生 (かたくり)
	(2) 訪問看護	160～		
	(3) 施設における介護と看護の役割・連携	163～		
	(4) リハビリテーション	166～		
第3節・障害福祉制度及びその他の制度	(1) 障害者福祉制度の概念	172～	3.5	川口
	(2) 障がい者福祉制度の仕組みの基礎的理解	175～		
	(3) 個人の人権を守る制度の概要	188～		

赤文字部分に関しては通信講座で講義を行う。

また添削講師は生徒の提出した課題の評価と採点を行う。

第1クール、科目第1章に関しては教材としてDVDの使用が可能である。

科目 第5章・介護におけるコミュニケーション技術				
項目	内容	P	時間	講師/添削講師
第1節・介護におけるコミュニケーション	(1) コミュニケーションの意義・目的・役割	200～201	3	西田先生 (すみれの花)
	(2) コミュニケーションの技法	202～205		
	(3) 利用者・家族とのコミュニケーションの実際	206～217		
	(4) 利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際	218～		
第2節・介護におけるチームのコミュニケーション	(1) 記録における情報の共有化	230～	3	川口
	(2) 報告・連絡・相談	238～		
	(3) コミュニケーションを促す環境	242～		

赤字部分に関しては通信講座で講義を行う。

また添削講師は生徒の提出した課題の評価と採点を行う。

第1クール、科目第1章に関しては教材としてDVDの使用が可能である。

科目 第6章・老化の理解				
項目	内容	P	時間	講師/添削講師
第1節・老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴	(1) 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴	248～	3	川口
	(2) 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響			
第2節・高齢者と健康	(1) 高齢者の疾病と日常生活の留意点	276～	3	青柳先生
	(2) 高齢者に多い病気と日常生活上の留意点			

赤字部分に関しては通信講座で講義を行う。

また添削講師は生徒の提出した課題の評価と採点を行う。

第1クール、科目第1章に関しては教材としてDVDの使用が可能である。

科目 第7章・認知症の理解				
項目	内容	P	時間	講師/添削講師
第1節・認知症を取り巻く環境	認知症ケアの理念	308～	1	青柳先生
第2節・医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	認知症の概念	312～	1	青柳先生
第3節認知症に伴う心と体の変化と日常生活	(1) 認知症の人の生活障害、心理行動の特徴	336～	1	青柳先生
	(2) 認知症の人への対応	346～		
第4節・家族への支援	家族へのレスパイトケア	352～	3	川口

赤字部分に関しては通信講座で講義を行う。

また添削講師は生徒の提出した課題の評価と採点を行う。

第1クール、科目第1章に関しては教材としてDVDの使用が可能である。

科目 第8章・障害の理解				
項目	内容	P	時間	講師/添削講師
第1節・障害の基礎的理解	(1) 障害の概念とICF	360～	1	川口
	(2) 障害者福祉の基本理念	367～		
第2節・障害の医学的側面、生活障害などの基礎知識	(1) 身体障害	370～	1	酒井先生 (さくら)
	(2) 知的障害	394～		
	(3) 精神障害	396～		
	(4) 発達障害	402～		
	(5) 難病	406～		
第3節・家族の心理、関り支援の理解	(1) 家族の理解と障害の受容支援	410～	1	酒井先生 (さくら)
	(2) 介護負担の軽減	412～		

赤字部分に関しては通信講座で講義を行う。

また添削講師は生徒の提出した課題の評価と採点を行う。

第1クール、科目第1章に関しては教材としてDVDの使用が可能である。

アルワンスクール第2クール（科目9～10）時間割及び講師一覧

科目 第9章(ア)心と体の仕組みと生活支援技術（基本知識の学習）				
項目	内容	P	時間	添削講師
第1節・介護の基本的な考え方	倫理に基づく介護	2～	2	秋沢先生 (かたくりの花)
	法的根拠に基づく介護	7～		
第2節・介護に関する心の仕組みの基礎的理解	学習と記憶に関する基礎知識	10～21	4	秋沢先生 (かたくりの花)
	感情と意欲に関する基礎知識			
	自己概念と生きがい			
	老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因			
第3節・介護に関する体の仕組みの基礎知識	生命の維持・恒常の仕組み	22～55	4	秋沢先生 (かたくりの花)
	人体の各部の名称と動きに関する基礎知識			
	骨・関節・筋に関する基礎知識と、ボディメカニクスの活用			
	中枢神経と体性神経に関する基礎知識			
	自立神経と内部器官に関する基礎知識			

赤文字部分に関しては通信講座で講義を行う。

また添削講師は生徒の提出した課題の評価と採点を行う。

第1クール、科目第1章に関しては教材としてDVDの使用が可能である。

科目 第9章 (イ) 心と体の仕組みと生活支援技術 (生活支援技術の講義・演習)				
項目	内容	P	時間	添削講師
第1節・生活と家事	生活と家事の理解・家事援助に関する基礎的知識と生活支援	56~81	5	酒井先生 (さくら)
第2節・快適な居住空間整備と介護	快適な居住環境に関する基礎知識・高齢者障害者特有の環境整備と福祉用具の活用	82~105	2	松本福祉用具相談員
第3節・整容に関連した心と体の仕組みと自立に向けた介護	(1) 整容に関する基礎知識 (2) 整容の支援技術	106~123	6	酒井先生 (さくら)
第4節・移動移乗に関連した心と体の仕組みと自立に向けた介護	(1) 移動移乗に関する基礎知識 (2) 移動移乗に関する福祉用具とその活用方法 (3) 利用者介護者にとって負担の少ない移動移乗の支援 (4) 移動移乗を阻害する要因の理解とその支援方法 (5) 移動と社会参加の留意点と支援	124~167	6	岡田先生
第5節・食事に関連した心と体の仕組みと自立に向けた支援	(1) 食事にに関する基礎知識 (2) 食事環境の整備と食事にに関する用具の活用方法 (3) 楽しい食事を阻害する要因の理解と支援方法 (4) 食事と社会参加の留意点	168~199	6	秋沢先生 (かたくり)
第6節・入浴清潔保持に関連した心と体の仕組みと自立に向けた介護	(1) 入浴・清潔保持に関連する基礎知識 (2) 入浴清潔保持に関連する用具の活用方法 (3) 楽しい入浴を阻害する要因の理解と支援方法	200~229	6	住友先生 (かたくり)
第7節・排泄に関連した心と体の仕組みと自立に向けた介護	(1) 排泄に関する基礎知識 (2) 排泄環境の整備と関連する用具の活用方法 (3) 爽快な排泄を阻害する要因の理解と支援方法	230~255	6	西田先生 (すみれの花)
第8節・睡眠に関連した心と体の仕組みと自立に向けた介護	(1) 睡眠に関する基礎知識 (2) 睡眠環境の整備と関連する用具の活用方法 (3) 睡眠な排泄を阻害する要因の理解と支援方法	256~273	6	住友先生 (かたくり)
第9節・死にゆく人に関した心と体の仕組みと終末期介護	(1) 終末期に関する基礎知識 (2) 生から死の過程 (3) 「死」に向き合う心の理解 (4) 苦痛の少ない死への支援	274~287	6	住友先生 (かたくり)
第1節・生活と家事	訪問介護実習		6	酒井管理者

赤字部分に関しては通信講座で講義を行う。

また添削講師は生徒の提出した課題の評価と採点を行う。

第1クール、科目第1章に関しては教材としてDVDの使用が可能である。

科目 第9章（ウ）・心と体の仕組みと生活支援技術（生活支援技術演習）

項目	内容	P	時間	添削講師
第1節・介護過程の基礎的理解	(1) 介護過程の目的・意義・展開	288～295	4	酒井管理者
	(2) 介護過程とチームアプローチ			
第2節・総合支援技術演習	(1) 演習を行うにあたって	296～321	6	秋沢先生 (かたくり)
	(2) 食べたくないと訴える施設入所者の援助			
	(3) できるだけ外に出かけたいと思っている利用者の援助			
	(4) トイレでの排泄にこだわりを持つ利用者の援助			

科目 第10章振り返り

項目	内容	P	時間	添削講師
第1節・研修を振り返る	研修を通じて学んだこと	322～	4	西田管理者
第2節・就業への備えと継続的な研修	継続的に学ぶべきこと			
	終業後の継続的な研修の実例			